

東京大学教養学部

オルガン演奏会

第137回演奏会

2017年10月16日(月) 19時00分開演

Mon. 16 October 7:00 pm at Komaba Campus, The University of Tokyo

オルガン: S. クンマー I. ブドリーター＝クンマー

Orgel: Samuel Kummer, Irena Budryte-Kummer

※プログラム曲名後の[S]はS. クンマー独奏、[I]はI. ブドリーター＝クンマー独奏、
[SI]はS. クンマー、I. ブドリーター＝クンマーの連弾を表しています。

J. U. シュタイクレーダー Johann Ulrich Steigleder (1593-1635)

「主の祈り」を含むタブラチュア集 40番で最終の変奏曲、トッカータ風 [S]

Tabulatur Buch Darinner daß Vatter unser Die 40. und letzte Variation auff Toccaten Manier

W. バード William Byrd (1543-1623)

幻想曲イ調 [S]

Fantasia in a

賛美歌を主題とするドイツのバロック様式による即興 [S]

Choralimprovisationen im deutsch-barocken Stil

J. S. バッハ Johann Sebastian Bach (1685-1750)

ライプツィヒ・コラール集より

「いと高きところには神にのみ栄光あれ」(テノールに定旋律) [S]

Aus der Leipziger Chorälen

„Allein Gott in der Höh sei Ehr“ BWV 663 c.f. in Tenore

S. ウェスレー Samuel Wesley (1810-1876)

オルガンのための二重奏曲 [SI]

Duet for Organ

I. Allegro II. Andante III. Fuga: Alla capella

J. S. バッハ Johann Sebastian Bach (1685-1750)

「狩のカンタータ」より [I]

Aus der Jagdkantate BWV 208

アリア「羊は憩いて草を食み」 Arie „Schafe können sicher weiden“

L. ディグリース、オルガンのための編曲 Orgelbearbeitung: Leopoldas Digrys

J. S. バッハ Johann Sebastian Bach (1685-1750)

オルガン協奏曲 II イ短調 (A. ヴィヴァルディの原曲による) [I]

Concerto a-moll BWV 593 nach Antonio Vivaldi

I. (Allegro) II. Adagio III. Allegro

注 A. ヴィヴァルディ「2つのヴァイオリンのための協奏曲 イ短調」作品3の第8番を編曲したもの

東京大学教養学部 900 番教室 (講堂)

入場無料 (先着 500 名) 開場 18 時 30 分

主催: 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部オルガン委員会 協賛: 東大駒場友の会

<http://organ.c.u-tokyo.ac.jp/> tel 03-5454-6139 (駒場博物館)

演奏者プロフィール



サムエル・クンマー

Samuel Kummer

ドイツ・シュトゥットガルトに生まれ、シュトゥットガルト音楽大学で教会音楽を学ぶ。オルガンをC. ボッサート、W. ヤコブ、L. ローマンに師事。また即興演奏をW. ベッツラー、W. ザイフェン、H. M. コリントに師事し、最優秀の成績で教会音楽A資格を取得し卒業。

1998年から2005年までキルヒハイム・マルティン教会の合唱指揮者兼オルガニストを務め、2005年からはドレスデン・聖母教会のポストにつき、数多くのオルガンコンサート（ドレスデンの主要教会3つで開催されている国際的なオルガンコンサートシリーズ）、バッハ・シリーズ、夕べの演奏会などの企画に関わり、また教会行事であるミサやコンサートで頻繁に演奏している。また2007年からドレスデン教会音楽学校で即興とオルガン実技の教鞭もとっている。

またコンサートオルガニストとして、ドイツ国内はじめベルギー（ブリュッセル・カテドラル）、オランダ、バルト諸国（リガ・大聖堂）、アメリカ（モルモンタバナクル）、スカンジナビア、スイス、ロシア、アメリカ合衆国、中央アメリカ諸国のカテドラルやコンサートホールで演奏し、高い評価を得ている。

1996年マーストリヒト（オランダ）でのコンクールで第1位、また1998年はオーデンゼーでのコンクールに入賞。2016年はニュルンベルク国際オルガンコンクールで審査員を務めた。

ドレスデン聖母教会で録音されたCDは世界中から高い評価を得ている（2008年発売のヴィエルの交響曲第3番、第5番）。M. レーガー没後100年にはドルトムント・コンサートホールでの演奏が、バイエルン放送局などによってライブ収録、放送された。

イレナ・クンマー

Irena Renata Budryte-Kummer

リトアニア・ヴィリニウスで生まれ、チュリオニス音楽高等学校で学んだ後、ヴィリニウス音楽院でオルガンとピアノを学ぶ。その後、ローマの音楽院Pontificio Istituto di Musica Sacra、更にはDAADの奨学生としてシュトゥットガルト音楽大学でL. ローマンに師事し、演奏家資格を取得し卒業。H. ファグウス、L. ギエルミ、J. ボワイエ、J. ギューのマスタークラスにも参加し研鑽を積む。

その後、ヴィリニウス音楽院とカウナスの音楽アカデミーで講師、ヴィリニウスのカシミール教会のオルガニスト、またヴィリニウスの音楽大学でコレペティートルも務める。

1987年からコンサートオルガニストとして、ヨーロッパ諸国、アメリカ合衆国、中央アメリカで演奏。クラリネット奏者である父、Algirdas Budrysと、また室内オーケストラや数多くの合唱団と共演、またソリストとして演奏する機会も多い。

1998年から2005年までキルヒハイムでピアノ教師、オルガニストを務め、2005年からはドレスデン聖母教会で定期的にオルガン演奏、また教会音楽学校でピアノ科の講師を務める。

これまでに国際コンクールに入賞（1988年キエフ国際オルガンコンクール第1位、1991年チュリオニス国際オルガンコンクール第3位）。最近は、チュリオニス国際オルガンコンクール審査員、またCD録音ほかラジオ、テレビ出演など各方面で活躍している。

駒場キャンパスの音楽活動について

1977年に、森泰吉郎氏（森ビル株式会社初代社長）のご寄贈によって緑に囲まれた900番教室（講堂）にパイプオルガンが設置されました。以来、音楽を愛する教職員によるオルガン委員会が中心となって定期的に演奏会が開催され、学生はもとより広く市民の方々にも愛されています。

また、2006年秋には、スタインウェイのフルコンサート・グランドピアノが駒場コミュニケーションプラザ北館2階の音楽実習室に設置されました。音楽実習室では2007年よりオーディションによって選抜された学生による学生選抜

コンサートが開催されるなど、駒場キャンパスの音楽活動の軸となっています。こうした多彩な駒場の音楽活動は「駒場音楽振興基金」（東大駒場友の会）からの補助によって支えられています。皆様からのご寄付をお寄せくださいますようお願いいたします。

〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1
東京大学大学院総合文化研究科・教養学部
オルガン委員会 <http://organ.c.u-tokyo.ac.jp/>
ピアノ委員会 <http://piano.c.u-tokyo.ac.jp/>
Tel. 03-5454-6139（駒場博物館）
Tel. 03-3467-3536（東大駒場友の会）

